



まきばの風

ほかほか

Community Magazine of JA Doutou Asahi



環境保全と景観維持を目的に、別海町中西別の圃場でグイマツの苗木を植える植樹活動を実施し、組合員・役職員合わせて17名が参加しました。



あさひ四兄弟

長男 たいよう・次男 だいち
長女 みどり・次女 みるく

もくじ

だいちがつなく未来 (西春別・及川牧場)	2
みどりのJAお仕事紹介 (根室支所・購買課)・花の苗とりまとめ	3
JA道東あさひ第8回通常総会	4
2017北海道B&Wショウ	6
根室B&Wショウ・オールニッポン受賞!	7
上春別産業祭・別海支所ふれあいまつり・各支所共進会の結果	8
JA道東あさひ管内圃場検討会・放牧技術研修会報告	10
管内の植生調査結果報告	11
平成29年度新採用職員酪農基礎研修報告	12
営農のページ (普及センター)	13
営農のページ (根釧農業試験場)	14
JAグループ通信	15
別海高校より	16
JAバンクから 年金お受取り・ご紹介キャンペーン	18
理事会報告	19
5月生乳生産・乳代単価情報・市場カレンダー・運勢・編集局から	20



JA道東あさひ 第8回通常総会 組合長挨拶(要旨)



私達、自然の恵みで生計を立てている農業者にとつては春耕期から収穫の出来秋まで、毎日の空模様気が懸りでありま

すが、今年の春明けは早く、4月下旬から春作業が始まり、5月7日には桜の開花と例年になく桜の花の美しい年であり、豊穣の秋を期待するものです。

翻って昨年の天候は、一番刈りの6月、8月の台風をはさんで9月中旬の2番刈りまで、雨の合間を縫っての収穫に大変苦勞し、特に2番草の栄養価と発酵品質の低下により秋以降、生乳生産の前年割れが続いています。また、草地造成も400ha程今年に持ち越し、かつて経験した事がない状況にあり、北海道の農業被害も十勝・北見等534億円。道路・鉄道等のインフラも1,300億円にも及ぶ甚大な被害であったことから、今年は無事な年であるよう願うものであります。

持続可能な経営の確立に向けて

平成28年度の組合員経済は難しい生産環境であったにも拘らず、当農協の生乳生産量は8,500tの減産に留まり34万9,666tとなりました。乳価が3年で10円程上がって、プール乳価が99円23銭となったことに加えて、国内の酪農戸数減少による乳用牛・肉畜資源の高騰で家畜販売高が前年対比115%の101億円となったことから、総販売取扱高が439億円となり組合員各位の日々の経営努力に敬意を表する次第です。平成28年から5カ年の第2次地域農業振興計画「JA道東

あさひビジョン2020」では、平成32年度の戸当り平均所得目標を2,000万円に設定しておりましたが、初年度に2,304万1,000円を達成した状況にあります。

この事は、乳価・個体販売価格の高値もありましたが、平成21年の合併以来、配合飼料高騰に対応する草地植生改善、サイレージ品質向上、経営安定・生乳増産の各プロジェクトと、草地植生改善助成、乳用後継牛確保対策、乾乳舎・哺乳育成舎施設投資助成事業等に2億2,000万円程の助成措置を講じ、組合員さんの経営と時代のニーズに対応した事業展開を地道に続けて来た成果と考える次第です。28年度事業決算はこのように組合員の大変な生産努力とJAへの事業結果により、当期剰余金3億500万円を協同の成果として残すことが出来ました。

現在の乳価水準は、JAグループ北海道が求めて来た平成18年以前の生乳1kg当り30円の所得確保が出来るようになり、TPP対策大綱により措置された、クラスター事業による施設建設が、当JAでは27年から本年まで3カ年でロボット牛舎を中心に25戸の整備がなされる状況にあります。本年は「働き方改革」として酪農経営体生産性向上緊急対策事業(楽酪事業)が措置され、北海道酪農の現場実態がようやく認識される様になり、平均1農場総労働時間8,500時間・1従事者2,800時間ですが、経営者では4,000時間の実態もあり、27年に打ち出された酪肉近の基本方針では、1農場4,560時間・1従事者1,900時間労働・所得630万円を目標

としており、ワークライフバランスの取れた持続的な経営確立に向けて、時代を担う若手経営者の将来に繋がる施設整備計画を積極的に対応して参ります。

総合農協のあり方を堅持

酪農が10年に亘って所得減を増頭で乗り越え、ようやくの回復基調にあるなか、昨年11月に規制改革推進会議からの「農協改革に関する意見」として指定団体制度における全量委託の廃止・部分委託の導入・全生産者に補給金の交付を提案し我が国の飲用・加工乳地帯の需給調整と乳価の安定に果たして来た制度が、今国会において改変され、有識者は酪農を弱体化させるとして懸念表明しているものです。ただ農水委員会では、畜産法改正案に対する10項目の附帯決議を行なっており、中でも「酪農は農業者の中でとりわけ過酷な労働条件にあることから、その改善を図るため、酪農ヘルパーの充実や公共牧場などを活用した育成の外部化を支援するとともに、搾乳ロボットやミルキングパーラーをはじめとする省力機器や施設の整備に対して集中的に支援を行うこと。こうした生産基盤対策等の支援は、地域を支える中小規模の家族経営体が十分活用できるよう配慮すること」としてあります。この一項目は、私共も政策要請で求め続けて来たことであり、全道で4,500戸程ある昭和40年代建築の牛舎の近代化も、国民の求める国内生乳750万tの回復に必要不可欠な事であり、高く評価しその実現を求めらるものであります。



同時に提案された、全農の購買事業の縮小・全量買取販売への転換、JA信用事業の譲渡の促進、組勸制度の廃止と組合員さんの事業利用が出来なくなる様な提案に対し、数次に亘る要請活動で一定の修正がなされた状況にあります。しかし、現在の金融緩和政策によるマイナス金利の長期化は、農協事業の要である信用事業における収益性の低下が予測されており、私達は将来に亘って組合員経営を支え、戸々の所得増大を図って行くためにも、時代や環境の変化に対応した総合農協の在り方は堅持して行かねばなりません。

時代の変化に対応した支援体制

平成29年度の事業環境及び計画は、先進各国の経済が低迷するなか、世界各国は原則関税撤廃の経済ブロック圏を形成しグローバル化を推し進めて来ましたが、主導して来たアメリカは国内製造業の衰退と貧困及び格差の拡大によってTPP離脱。英国も同様の国内問題を抱え、国境措置がなく単一通貨のEUから離脱と、グローバル化の負の拡大による国家の選択であり、農業団体が5年余に亘って懸念表明して来た国境措置の無い原則関税撤廃の矛盾が表面化して来たと思うものの、日本はTPP11を主導するとしており、加えてEUとのEPAも早期妥結が言われTPP以上の譲歩は国内農業への影響が大きいことから進展せず、世界の潮流には変化の兆しがあるなか、日本も過度の自由貿易圏の拡大と規制改革では国内各産業の均衡ある発展は図れないと考えるものです。世界経済と私達の農業経営も連動する時代ですが、29年度の乳価は国内生乳生産の回復を期してのメッセージとするためにも、年内は対メーカー交渉で60銭の引上げ、補給

金に29年度から液状乳製品も含まれ10円56銭に決定し、29年度プール乳価は99円63銭の見込みとされておりましたが、29年4月分の全道乳代精算によりますとプール乳価99円72銭、100円以上の乳価が約2,200戸38%となり、生産回復が期待される水準となっております。本年度は第2次地域農業振興計画「JA道東あさひビジョン2020」の2年次目に入り、TPP・EPA等の交渉妥結が不透明な中にも、経済の国際化進展に対応した経営の確立が求められるものであり、第1次振興計画から継続しての経営の基本である、生産性向上対策の繁殖管理・自給飼料・乳質の改善に加え、21年の合併以来戸当たり生乳生産量が590tから679tまで拡大しており、配合飼料高騰時代を乗り越えて来ました。今や投資できる経営環境となり不備だった個々の生産施設の整備が行われると同時に、近年組合員さんの要望の強かった、酪農ヘルパー事業の統一と農協コントラ事業をASAHISAポータルセンターを立ち上げ推進して参ります。加えて着工の遅れておりました新哺育・育成預託センターについても本年着手、31年8月から運用すべく体制整備を進めており、時代の構造変化に対応した営農支援体制の充実を図って参ります。現在の農業・農協に政府は農業の成長戦略、所得倍増としながらも酪農に係る制度や農協事業の改革で事業存続が危うくなる様な提言を続け議論をして来た経過にあります。当農協の理念である「豊かで潤いのある農村生活を確立」していくためにも、常日頃から組合員同士でグローバル化が進展する今の時代をどう拓いていくか議論・提言し、協同の力をもつて農協事業を展開して参りたく思います。

第8回通常総会議案

【議案第1号】

監事監査規程の一部変更について

【議案第2号】

役員退職慰労金支給規程の一部変更について

【議案第3号】

土地改良業務規程の一部変更について

【議案第4号】

平成28年度事業報告及び剰余金処分案の承認について

【議案第5号】

平成29年度事業計画の設定について

【議案第6号】

賦課金の賦課及び各種事業事務取扱負担金の設定と徴収方法について

【議案第7号】

土地改良法に基づく土地(又は草地)改良事業の実施について

【議案第8号】

役員報酬の支給について

【議案第9号】

酪農ヘルパー事業の譲渡並びに株式会社株式取得について

【議案第10号】

全国農業協同組合連合会が行う農業経営事業に関する同意について

【報告事項1】

労働保険事務組合の平成28年度徴収・納付状況の報告について

【特別決議】

JA北海道大会決議事項の着実な実践に関する特別決議



出資達成者表彰

上春別支所 (有)林牧場 (代表：林 政隆)
 (有)菅野牧場 (代表：菅野 武義)
 (有)片岡牧場 (代表：片岡 國治)
 (有)原田ファーム (代表：原田 雄貴)
 西春別支所 及川 哲夫、松岡 英幸
 別海支所 田保 博幸、北出 道雄
 武藤 一逸、(有)清實牧場 (代表：清實 一喜)
 (有)中原牧場 (代表：中原 哲)
 根室支所 (有)小柳牧場 (代表：小柳 寛)
 (有)佐々木牧場 (代表：佐々木康則)

乳質優良者表彰

上春別支所 岸本 秀隆、橋本 雄貴
 (有)高木牧場 (代表：高木 敦)
 井戸坂 伸哉
 (有)片岡牧場 (代表：片岡 國治)
 西春別支所 郷 敏幸、高橋 利栄
 (株)竹花牧場 (代表：竹花 新吉)
 佐藤 悠、土田 旭、大仲 孝昌
 別海支所 玉置 健三、桐島 博
 高山 実、山口 雄司、響 忠士
 松本 清教、濱崎 孝一
 (有)グローブ (代表：林 武雄)
 斉藤 春雄、松原 春、内藤 享太
 根室支所 酒井 克実
 (有)武隈牧場 (代表：武隈 昭博)
 渡邊 弘、石橋 忠幸、木下 俊一
 矢部 讓治、松下 睦夫、矢部 俊則

農業後継者・新規就農者激励状授与

西春別支所 農業後継者：郷 隆幸、渡部 晃士、高橋 のぞみ
 新規就農者：田村 大祐、橋本 佳憲
 別海支所 農業後継者：芳賀 亮介 新規就農者：小村 直樹
 根室支所 農業後継者：伊藤 亨乃、山崎 篤史、福田 啓一

**JA北海道大会決議事項の
 着実な実践に関する特別決議**
 平成26年に定めた「JAGル
 ープ北海道改革プラン」を着実
 に進めるため、平成31年までの

議長団に上春別支所の岸本正
 明氏と、西春別支所の岩崎和雄
 氏を選出し、株式会社ASAHI
 Iサポートセンターの事業開始
 に伴う、ヘルパー事業の譲渡等
 を含む、上程した議案と特別決
 議が原案通り可決されました。

6月6日、JA道東あさひ第
 8回通常総会を別海町総合スポ
 ーツセンターで開催し、本人102
 名、委任43名、書面議決316名の
 合計461名が出席しました。

2か年でそれぞれの立場、役割
 を認識しながら力強い農業と豊
 かな魅力ある農村の実現を目指
 し、JAGグループが一丸となっ
 て自己改革を実践すること以一
 致しました。



新規就農者への激励状授与

乳質環境管理共励会表彰

最優秀賞

別海支所 中西別第5酪農協議会

優秀賞

上春別支所 第4酪農協議会

別海支所 別海第3酪農協議会

努力賞

別海支所 中西別第4酪農協議会

上春別支所 第6酪農協議会

別海支所 別海第1酪農協議会

上春別支所 第5酪農協議会

別海支所 別海第9酪農協議会

2017北海道ブラック&ホワイトショウ 当JAから9頭出品

5月27日と28日の2日間にわたり、安平町の北海道ホルスタイン共進会場において、2017北海道ブラック&ホワイトショウが開催されました。

審査員はアルタジャパン株式会社代表取締役の細野 淳氏が務め、西春別支所から2戸2頭、別海支所から5戸5頭、根室支所から2戸2頭、合計9戸9頭が出品され、総頭数276頭が資質を競い合いました。

別海支所の丹羽 務氏出品のグロリアス ハツピー コントラスト アリー号が4位入賞を果たしました。

根室ブラック&ホワイトショウ 8部門で1位を獲得!

5月13日、中標津町ホクレン根室地区家畜市場で根室ホルスタイン改良協議会主催による根室ブラック&ホワイトショウが開催されました。審査員に中標津町酪農家の中川将氏を迎え、当同志会からは20戸35頭（別海支部10戸18頭、西春別支部5戸10頭、根室支部5戸7頭）の出品があり、総頭数64頭が乳牛の体型や資質を競い合いました。

別海支部の酒井保幸氏出品のグローリーランド ベツスリリー ハツドリ号がグランドチャンピオン及びシニアチャンピオンを獲得したほか、根室支部の中川佳代氏出品のセンターランド チャンプ ロウ ブロウカウ号がジュニアチャンピオンに輝きました。また、同志会対抗戦も1位に選ばれるなど各出品者とも大健闘しました。出品者の皆様、本当にお疲れ様でした。



別海支部 酒井 保幸氏 出品
グローリーランド ベツスリリー ハツドリ号



根室支部 中川 佳代氏 出品
センターランド チャンプ ロウ ブロウカウ号

各部門1位獲得牛

部	成績	名 号	支 部	出 品 者
2 部	1 位	グローリアス ハツピー コントラスト アリー	別 海	丹羽 務氏
3 部	1 位	グローリーランド ファレル エリシア	別 海	酒井 保幸氏
4 部	1 位	センターランド チャンプ ロウ ブロウカウ	根 室	中川 佳代氏
5 部	1 位	HEF シーエス カメリア ET	西春別	大門 貴幸氏
8 部	1 位 (BU)	センターランド チャンプ ロウ アツトウツド	根 室	中川 佳代氏
9 部	1 位 (BU)	ビューゼット コンケスト アルマイル	別 海	沓澤 宣幸氏
11 部	1 位 (BU)	マウントエース アメージング ジョイ	別 海	安部 克寿氏
12 部	1 位	グローリーランド ベツスリリー ハツドリ	別 海	酒井 保幸氏

酒井 保幸氏所有牛 オール・ニッポンも受賞!



グローリーランド ベツスリリー ハツドリ
1401607065 24.11.5生
父 フレイデール ゴールドウイン
母 エステール ハツドリ エンゼル

(一社)全国酪農協会・デーリイマン社共催による第37回オール・ニッポン・ホルスタイン・コンテスト(写真審査)が開催され、各部オール・ニッポンが決定しました。

今回のコンテストには、39都道府県から506頭がノミネートされ、JA道東あさひからは12頭がノミネートされました。

第8部(3歳経産シニア・クラス)において別海支所酒井 保幸氏所有のグローリーランド ベツスリリー ハツドリ号がオール・ニッポンを受賞されました。

また、第10部(5歳経産クラス)において別海支所丹羽 博文氏所有のファイנקエスト ゴールデン パラダイス ET号が準々オール・ニッポンを受賞しました。

JA道東あさひからのオール・ニッポンの受賞は、一昨年の丹羽 博文氏所有のファイנקエスト ゴールデン パラダイス ET号(2歳経産ジュニアクラス)に続く3頭目となりました。おめでとうございます!

上春別産業祭
乳牛共進会

各イベントで盛り上がり

6月3日、上春別農村広場で上春別産業祭を開催し、多くの組合員や地域の方々が様々なイベントを楽しみました。

このお祭りでは乳牛共進会も行っており、今年の天候は曇りで肌寒い天気ではありましたが、昨年のように雨が降らずに終了することができました。

女性部による例年のうどん・そば、フレッシュミズ部会によるクレープ・クラムチャウダーの販売等や青年部によるオリジナルグッズ付乳製品の詰合せセット販売、新たな取組みとして郊楽苑製ショートチーズの試食販売も行い、他にも様々なブースを展開し、食料品などが当たるビンゴゲームやホールインワンゲーム等で会場は盛り上がりました。

乳牛共進会では、ジェネティクス北海道道東事業所業務課長の大林敏朗氏に審査を務めて頂きました。結果は下記の通りです。



青年部による試食販売のブース

第8回上春別乳牛共進会 入賞牛

入賞	出品牛名号	出品者
ジュニア グランド チャンピオン	フォーエバーヒル ドアマン クリスタル ET	芳賀 牧男氏
ジュニア リザーブ チャンピオン	オークフィールド レジナルド クリス	芳賀 牧男氏
シニア グランド チャンピオン	フエアーク スーパー ドレーク	佐藤 正一氏
シニア リザーブ チャンピオン	ヤン ドラ アルタアバロン ルーテル	真壁 孝男氏

部門	1等1席 牛名号	出品者
1部	スピリット ウルトラ ジャステイス	佐々木 信氏
2部	センターファーム ブラッドニック カーラ	㈱なかのめ牧場
3部	フォーエバーヒル シド エリザベス ET	芳賀 牧男氏
4部	フォーエバーヒル ドアマン クリスタル ET	芳賀 牧男氏
5部	フォーエバーヒル スパークリング リニー ET	芳賀 牧男氏
6部	センターファーム トールズ マツカチエン	㈱なかのめ牧場
7部	ヤン ドラ アルタアバロン ルーテル	BU 真壁 孝男氏
8部	プロント スパークリング プリンセス	BU ㈱アイファーム
9部	センターファーム ロジユ ビーエフ ブラッドニック	BU ㈱なかのめ牧場
10部	フエアーク スーパー ドレーク	BU 佐藤 正一氏



別海支所
JAふれあいまつり

酪農の魅力
をアピール

6月10日、別海町農村広場で別海支所2017JAふれあいまつりを開催しました。

今年も乳牛共進会を始め、酪農の魅力を知ってもらおうことを目的に、乳製品や焼肉の無料提供など様々なブースを展開し、豪華景品が当たる抽選会も盛り上がりしました。

58頭の出品があった乳牛共進会では、ジェネティクス北海道道央広域事業所次長の氏平健太郎氏を審査員に招き、デイリークイーンは別海高校2年生でジュニアホルスタインクラブの村松明日香さんと平岡由羽さんが務めました。結果は次のページの通りです。



2017JAふれあいまつり乳牛共進会 入賞牛

入賞	出品牛名号	出品者
ジュニア チャンピオン	ジヨハナ アストロ ソロ	菊地 正明氏
ジュニア リザーブ チャンピオン	VT アトウツド シド	伊藤 真幸氏
シニア チャンピオン	ファイנקエスト バーク レイスター セブン RED	丹羽 博文氏
シニア リザーブ チャンピオン	ファイנקエスト コンスタンス チツプ ET	丹羽 博文氏

部門	1等1席 牛名号	出品者
1部	ジヨハナ アストロ ソロ	菊地 正明氏
2部	ファイנקエスト パラダイス ウィンク ET	丹羽 博文氏
3部	ウツドレリー ドアーズ ヒルクロフト ET	森重 信洋氏
4部	VT アトウツド シド	伊藤 真幸氏
5部	パロンドール レジーニア	菊地 恵美氏
6部	ダイアリー FF テイファム ミミ ET	株Diary Holsteins
7部	ファイנקエスト コンスタンス チツプ ET	BU 丹羽 博文氏
8部	グローリーランド ベツス サラ ショック ソチ	BU 酒井 保幸氏
9部	ファイנקエスト バーク レイスター セブン RED	BU 丹羽 博文氏
10部	ラッス エンファシス シンダー	BU 株オーリーファーム


第8回 JA道東あさひ西春別ホルスタイン共進会 (6月2日開催)

場所：西春別家畜共進会場 出品頭数：49頭 審査員：佐久間 俊氏 根室市酪農家

入賞	出品牛名号	出品者
ジュニア チャンピオン	テイスカバリーフィールド プロカウ アステイ	宇居 宏明氏
ジュニア リザーブ チャンピオン	フォレスト ヒンペル スター ゴールドプリン ET	大門 貴幸氏
シニア チャンピオン	グリーンリバー ロイレーン ブラクストン パニー	今井 明郎氏
シニア リザーブ チャンピオン	ビツグゲート ウィンドブルツク チェスター	大門 貴幸氏

部門	1等1席 牛名号	出品者
1部	ブルムワード エラボレイト ダイア	齊藤 俊英氏
2部	フォレスト ヒンペル スター ゴールドプリン ET	大門 貴幸氏
3部	テイスカバリーフィールド プロカウ アステイ	宇居 宏明氏
4部	ビツグゲート ブラッドニツク ジャツジ	大門 貴幸氏
5部	テイスカバリーフィールド プロカウ マットソン	宇居 宏明氏
6部	グレイスフル HE シドニー ローザヌ	渡部 義市氏
7部	HEF シーエス カメリア ET	大門 貴幸氏
8部	ビツグゲート スパークリング ベアンス	BU 大門 貴幸氏
9部	グリーンリバー ロイレーン ブラクストン パニー	BU 今井 明郎氏
10部	グレイスフル MDF アットウツド バーバラ ET	BU 渡部 義市氏
11部	ビツグゲート ウィンドブルツク チェスター	BU 大門 貴幸氏


第51回根室市ホルスタイン共進会 (6月8日開催)

場所：根室集落家畜共進会場 出品頭数：41頭 審査員：竹田 秀臣氏 オールジャパンリーダーズサービス(株)

入賞	出品牛名号	出品者
最高位経産牛 ベストアンダーチャンピオン	センターランド アカロイ ET	中川 勉氏
準最高位経産牛	センターランド マットロイ ダンデイ	中川 佳代氏
最高位未経産牛	センターランド チャンプ ロウ プロウカウ	中川 佳代氏
準最高位未経産牛	ピーチファーム ゲイン サリー	大橋 武流氏

部門	1等1席 牛名号	出品者
1部	ピーチファーム ゲイン サリー	大橋 武流氏
2部	センターランド シンコ ブラツクス ゲイン	中川 佳代氏
3部	ピーチファーム MRマツカチエン シャルル	大橋 武流氏
4部	センターランド チャンプ ロウ プロウカウ	中川 佳代氏
5部	センターランド チャンピオン ツー ダンデイ	中川 勉氏
6部	マックスターライ クイーン マリアーナ	佐久間 俊氏
7部	エクセルランド マーシャル スパークリング	BU 株武隈牧場
8部	センターランド T ロイ レーサー テンプシー	BU 中川 佳代氏
9部	センターランド マットロイ ダンデイ	BU 中川 佳代氏
10部	センターランド アカロイ ET	BU 中川 勉氏

最優秀牧場牛群 (3頭1組) 中川 佳代氏



5/30 JA道東あさひ管内圃場検討会

5月30日(火)、「JA道東あさひ管内圃場検討会」を開催しました。この検討会は、植生改善に先進的に取り組んでいる実践者の圃場を実際に目で見て、今後の植生改善や肥培管理につなげることを目的に毎年実施しているもので、今回は平成28年度に草地更新を実施した(株)森重ファーム(別海支所)他2圃場を見学しました。いずれの圃場もイネ科牧草・マメ科牧草とも旺盛で、出席した関係機関より一番草刈取時の注意点や維持管理のポイントなどの解説が行われました(以下抜粋)。
 ~ (株)森重ファーム(採草地 5.3ha)の圃場概要~



↑組合員・関係機関等29名が参加

《作業工程》

作業日	作業内容	備考
7月10日	耕起前除草	RUMR 6.7ℓ/ha
7月26・27日	耕起	
8月3日	砕土	
8月5日	土改材散布	
8月7・8日	砕土(2回)・鎮圧	
9月12日	播種前除草	RUMR 3.0ℓ/ha
9月13日	施肥播種・鎮圧	

※RUMR…ラウンドアップマックスロード



↑昨年の台風の影響で播種はやや遅れたが、牧草の生育は比較的良好

《資材・種子》

	種類	量	備考
資材	防散苦土タンカル	2,023kg/ha	
	重焼燐	403kg/ha	
	BB122	403kg/ha	N-P-K-Mg = 10-20-20-5(%)
種子	チモシー ホライズン	18.0kg/ha	早生
	シロクローバ リベンデル	2.0kg/ha	小葉型
	アルファルファ ケレス	5.0kg/ha	
	計	25.0kg/ha	

◇維持管理のポイント◇

- ・適期刈取り & 高刈りの実施
- ・スラリー散布は刈取後10日以内(最終番草除く)とし、更新翌年の最終番草までは散布を控える

6/13 放牧技術研修会(フィールド研修)

6月13日(火)、「放牧技術研修会」を別海支所の近津牧場及び臼井牧場にて開催しました。

この研修会は、放牧草の生育が最盛期を迎えるにあたり、実践者の放牧地を実際に目で見て効果的な放牧体系や放牧地管理方法を学ぶことを目的に開催されたもので、(一社)日本草地畜産種子協会放牧アドバイザー 須藤 純一氏と、根釧農業試験場 乳牛グループ研究主任 西道由紀子氏をアドバイザーとして、事前に聞き取りした取組み確認書や圃場マップを基に、各取組みについてポイントの解説や出席者とのディスカッションが行われました。



↑組合員・関係機関等33名が参加

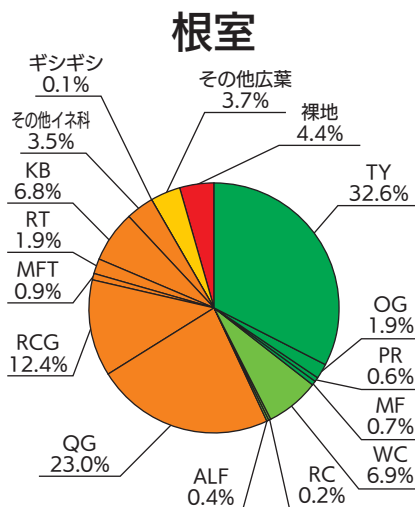
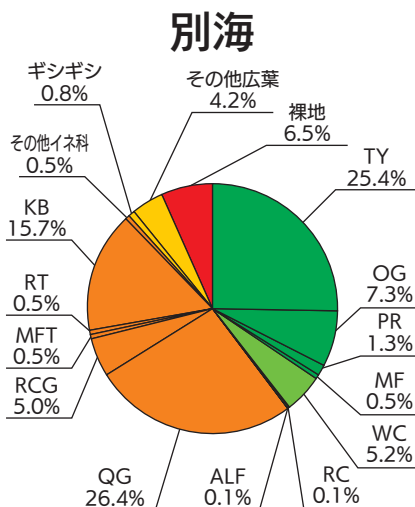
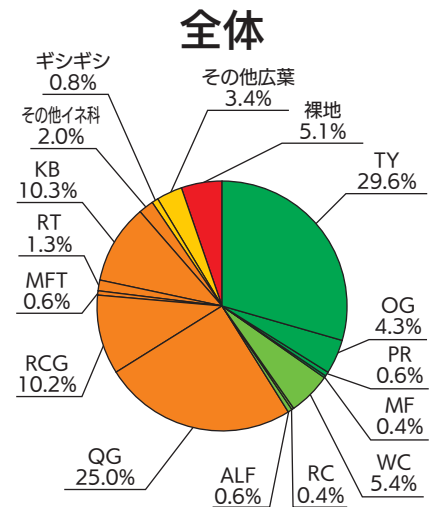
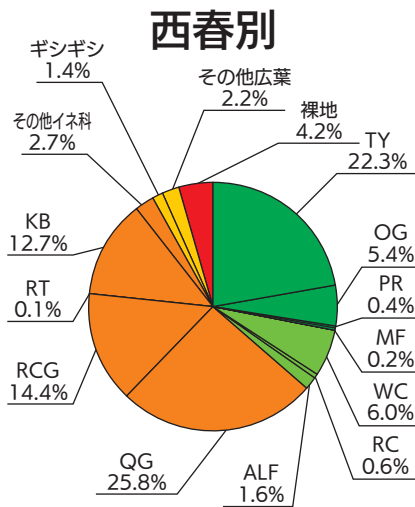
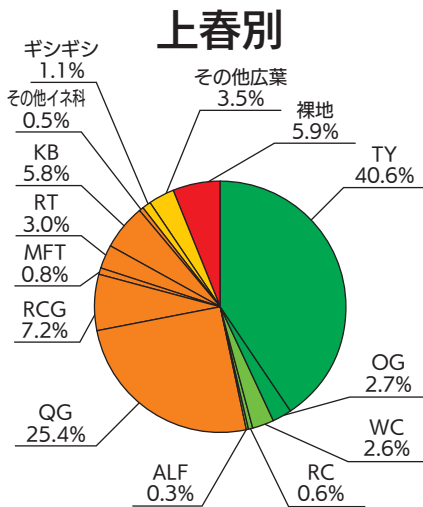


《土壌中の小動物(ミミズ等)や微生物の活性を高めるために》
 土壌分析や飼料分析の実施…土壌中や牧草中のミネラル含量の把握
 ↓
 適切な肥培管理…各種ミネラル(Ca、Mg等)バランスの適正化
 ↓
 各種土壌生物の活性を高める…ふん尿の分解促進(植物への利用)

H29地区別（支所別）植生調査結果報告

5月16日から26日にかけて各支所において植生改善担当職員、関係機関の協力のもと植生調査を実施しました（21戸273圃場）。1班3～4名のグループをつくりそれぞれ牧草や雑草、裸地の割合を確認しました。

基幹牧草のイネ科は緑、マメ科は黄緑、シバムギ、リードカナリーグラスなどのイネ科雑草は橙、ギシギシ・タンポポなどの広葉雑草は黄色、裸地は赤で色分けされています。基幹牧草割合が50%を切り出した場合は、更新や追播、物理性改善等の検討をしましょう。



【牧草の略語】	
〈イネ科〉	
TY	チモシー
OG	オーチャードグラス
MF	メドウフェスク
PR	ペレニアルライグラス
〈マメ科〉	
WC	白クローバー
RC	赤クローバー
ALF	アルファルファ
〈イネ科雑草〉	
KB	ケンタッキーブルーグラス
RT	レッドトップ
QG	シバムギ
RCG	リードカナリーグラス
MFT	メドウフォックステイル
その他	その他イネ科雑草
〈広葉雑草〉	
ギシギシ	ギシギシ
その他	その他広葉雑草

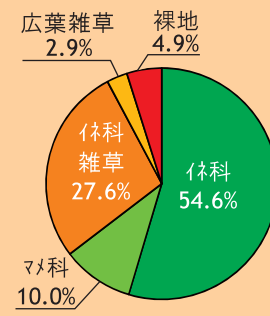
※KBはイネ科雑草としておりますが、放牧地ではイネ科の基幹草種と捉えることができます。

《参考》オーチャードグラスの雑草抑制効果

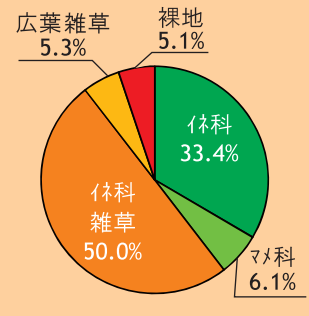
今回調査を行った圃場の内、オーチャードグラスが20%以上の圃場は、20%未満の圃場に比べて、雑草割合が25%程度低い結果となりました。検体数の差はありますが、オーチャードグラスなど競合力の強い牧草を上手く活用することにより、雑草の侵入を抑制できることが期待されます。

OG割合	検体数	イネ科	マメ科	イネ科雑草	広葉雑草	裸地
20%以上	19	54.6	10.0	27.6	2.9	4.9
20%未満	254	33.4	6.1	50.0	5.3	5.1

【OG20%以上 (n=19)】



【OG20%未満 (n=254)】



夏の放牧管理(栄養管理)について

牧区をポリワイヤー等の電牧で区切り、掃除刈りを行った後にその区へ牛を放すなど常に短草利用で栄養価の高い放牧草を利用できるようにしましょう。

大牧区で管理している場合は草が伸び過ぎると、採食できる草の量が減少します(写真1)。

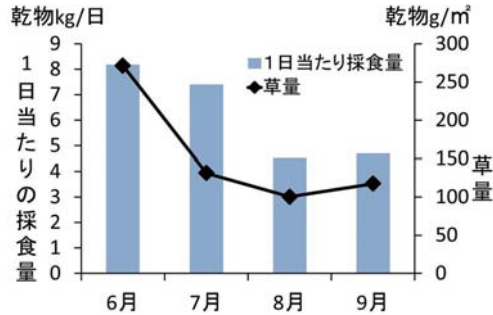


図1 放牧期間中の草量と1日あたり採食量の推移 (普及センター調べ)

図1は大牧区で管理している根室のある農場で調査した「放牧期間中の草量と1日当たりの採食量の推移」です。8月以降は草量が減少し、採食量も低下していました。

採食量の変化
今年の放牧開始時期について
今年は春先の牧草の生育が良く放牧開始も例年より1週間程早くなっているようです。

掃除刈り後、繊維は低くなりますが、その後9月以降になると徐々に高くなる傾向にあります。そのため短草利用することが必要です。

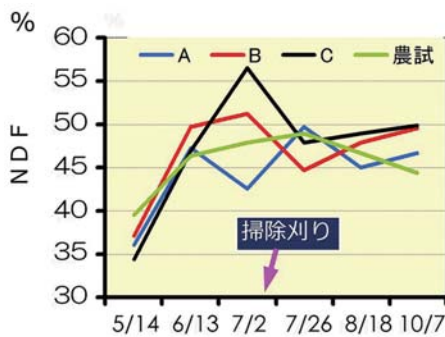


図2 平成20年調査結果 繊維 (NDF) の推移

図2は別海町の3農場と農業試験場の放牧地のチモシーの粗飼料分析結果です。牧草は生育とともに繊維含量が増加し、消化率が低下します。図2のC農場は放牧草が伸びていたため、7月の繊維が特に高くなっています。



写真1 放牧地の草が伸びた状態

一方、放牧地を小牧区で管理している場合は、草量不足にならないよう牧区の移動や一番草刈り取り後の草地を兼用地として入れるなど牧区の拡大も必要です。

放牧草の栄養価の変化と乳質

牧草の栄養価は牧草の伸び、季節や草種(マメ科が多い・少ない)により変動がありますが、短草の放牧草のタンパク質は概ね20%前後あります。旬報や乳検でMUN(乳中尿素態窒素)の上昇がみられ、体細胞数も上昇している場合は、タンパクの過剰摂取が疑われます。

牛が過剰に摂取したタンパク質は、微生物蛋白質に合成される以外は大量のアミノニアとなり肝臓で解毒されます。肝臓に負担がかかると、牛の免疫力が低下し、乳房炎の発生等色々なロスが出る場合があります。

乳脂肪率の低下は、牧草の繊維不足や採食量の低下等が原因となります。

併給飼料を使用した対策

MUNの上昇による肝機能の低下から乳房炎などが疑われる場合は、飼料中のタンパク濃度を下げるよう配合飼料

の一部を圧ペンコーンに置き替える等して調整します。但し、圧ペンコーン(澱粉濃度約70%)は、澱粉含量が配合飼料(澱粉濃度約38%)より高いため、アシドーシスにならないよう給与量に注意が必要です。

その他の栄養管理

気温が上がると飲水量が増加し、搾乳牛では1日100リットル以上水を飲むと考えられます。給水車を使用して放牧地では水不足に気がつけましょう(写真2)。

汗や尿としてミネラルも失われます。固形塩等も忘れないうようにし、夏の放牧を乗り越えましょう。



写真2 給水車の利用

営農のページ
【農業試験場】

**収量水準と地力で決める！
飼料用とうもろこしの窒素施肥**
根釧農試 飼料環境グループ 八木哲生

飼料用とうもろこしに対する窒素施肥量を収量水準や窒素肥沃度から決める方法をご紹介します。

1. 総窒素施肥量の設定

窒素の施肥対応を示した表（表1）を用いて、以下の手順により総窒素施肥量（基肥と分施の合計窒素施肥量）を決めます。

(1) 収量水準の設定

過去の生産実績を参考に、各畑の収量水準を設定します。生産実績を把握できていない畑では「北海道施肥ガイド」における各地帯区分の基準収量をあてはめます。根釧地域における基準収量は、生収量で4500～5500kg/10a（総体乾物率を30%とした乾物収量では1350～1650 kg/10a）です。

(2) 窒素肥沃度の判定

ふん尿施用前の土壌を分析します。分析項目には、熱水抽出性窒素を用います。小数点以下を四捨五入します。

(3) 総窒素施肥量の設定

上記（1）および（2）から求めた収量水準と窒素肥沃度を施肥対応表にあてはめ、総窒素

施肥量を設定します。この値は、基肥と分施の合計量で、堆肥やスラリーを施用するときは、これらに含まれる肥料換算分の養分量を含みません。

2. 施肥配分とふん尿施用時の対応

(1) 施肥配分

基肥の窒素量は総窒素施肥量の50%以上を基本としますが、上限を8～10kg/10aとするのが適当です。作条での基肥の窒素量が10kg/10aを超えると濃度障害が懸念されるためです。

総窒素施肥量から基肥の窒素量を差し引いた残りは、7葉期までに分施して下さい。

(2) ふん尿施用時の対応

ふん尿由来の肥料換算養分量は、堆肥では分施として100%、スラリーでは基肥と分施に50%ずつ配分して減肥するのが適当です。

3. 留意点

収量は窒素以外の条件も大きく影響します。現実的な収量水準を設定し、窒素施肥量の過不足を最小限にとどめることが大切です。

表1.収量水準と窒素肥沃度に基づく総窒素施肥量 (kg/10a、一部を抜粋¹⁾)

乾物収量 ²⁾ (kg/10a)	目標窒素 吸収量 (kg/10a)	熱水抽出性窒素量 (作土、mg/100g) ³⁾							
		~2	3 ~4	5 ~6	7~8 ⁴⁾ (施肥標準)	9 ~10	11 ~12	13 ~14	15~
1200	11	18	16	14	11	9	8	8	8
1300	12	19	17	15	12	10	8	8	8
1400	13	20	18	15	13	11	9	8	8
1500	14	21	18	16	14	12	9	8	8
1600	15	22	19	17	15	13	10	8	8
1700	17	22	20	18	16	13	11	9	8

1) <http://www.hro.or.jp/list/agricultural/center/kenkyuseika/gaiyoshoh/29/f1/5.pdf>より。
 2) 総体乾物率30%とした。過去の生産実績、各地帯区分の基準収量を参考に設定する。
 3) 土壌分析項目の一つ。土壌は、ふん尿施用前に採取する。分析値は、少数第一位を四捨五入する。
 4) 泥炭土の場合は、窒素肥沃度による施肥対応によらず、施肥標準から2kg/10aを減ずる。

JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々のトピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容は、WEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会

日EU・EPA交渉が大枠合



意に至る可能性が高まっていることから、6月14日「日EU・EPA交渉から北海道農業を守り抜く要請運動」を実施し、日EU等経済協定対策本部（自民党）の幹部役員、道内選出与野党国会議員及び農林水産省に要請を行いました。乳製品、豚肉、小麦粉調製品、馬鈴しょ、でん粉等が大きな焦点になると想定されますが、十分な情報提供がないまま大枠合意に向うことに大きな不安が広がっています。引き続き、政府・与野党に対して衆参農林水産委員会決議（H28.12）に基づき、農林水産物重要品目の再生産を可能とする国境措置の確保や交渉内容・進捗状況について丁寧な情報提供を求める運動を展開していきます。

JA北海道信連

5月に、JA窓口職員のスキルを向上し、JA窓口をご利用いただく皆様のニーズに添えていく事を目的に「JAバンク北海道窓口セールスコンクール」を開催しました。

当日は、各地区の予選等を突破した16名が「年金指定部門」、「純新規推進部門」の2部門で接客や提案力を競いました。JAバンク北海道では、コンクールを通じて、より一層お客様満足度向上を目指して参ります。



ホクレン

ホクレンは、酪農生産基盤強化対策の一環として、北海道特有の冬場の子牛事故率低減に向けた「冬期子牛飼養環境向上支援事業」を実施しておりますが、平成29年度から和牛繁殖農家の皆様に対する事業「冬期子牛飼養環境向上支援事業（和牛版）」を始めました。具体的には、出生直後の子牛を暖める機械装置や分娩監視モニター等の導入助成を行います。詳しい日程・事業内容については、JA担当課へ問い合わせください。



JA共済連北海道

社会貢献活動の一環として、昭和50年から継続して道内各自治体へ救急自動車を寄贈しています。道庁総務部の危機対策課へ寄贈先の選定審議を依頼しており、今年度は4台を寄贈予定です。今年度の寄贈が完了すると累積寄贈台数は、記念すべき200台を超え、202台を数えることとなります。

今後も行政やJAと連携を図りながら交通事故防止と被害者救済への取組みを強化し、皆様の為に貢献して参ります。



JA北海道厚生連

北海道厚生連では、イメージキャラクター「コウセイくん」を制作しました。医療をイメージした白に北海道の緑を取り入れた、のんびり優しい性格のシロクマくんです。今後、様々な場面で登場しますので、癒されるキャラクターとして親しんでいただきたいと思います。

JA2MP（ジェイエイジャンプ）アプリで北海道厚生連を検索すると「コウセイくん」が登場します。是非会いに来てください。



コウセイくん



別海高校 酪農経営科・専攻科

●【経営科】意見発表大会で活躍！

5月1日（月）、農業クラブ三大事業の1つである校内意見発表大会が本校体育館で行われました。審査員として、根室農業改良普及センター所長 嶋野幹夫様、別海町役場産業振興部の高橋克彦様をはじめ5名の方々の協力をいただいて行われました。

この、校内大会を経て選出された3名の生徒が6月21日（水）に土幌町総合研修センターで開催された東北北海道大会に参加しました。東北北海道地区の8校から、3分野に合計27発表がエントリーされて大会が行われました。各校の代表によるレベルの高い発表が集う中、本校の生徒も活躍し、II類で最優秀賞を受賞し、8月21日（月）、22日（火）に旭川市で開催される全道大会へ駒を進めることとなりました。ご指導いただきました関連機関の皆様へ感謝申し上げますとともに、生徒の活躍に大いに期待したいと思います。

＜東北北海道大会の出場生徒と大会結果＞

- 【I類】 3年 南澤 茜
「三代目の酪農家として～私が目指す経営改善～」
- 【II類】最優秀賞 3年 守屋 美紅
「姉妹で彩る別海チーズ」
- 【III類】 3年 斎藤 結璃
「私の決意 作業療法士としての夢」



大会参加のようす

●【経営科】ふれあいまつりに参加！

6月10日（土）にJA道東あさひふれあいまつりに参加させていただきました。平成26年よりJA道東あさひ様のご厚意で参加させていただいており、今年も花苗、野菜苗、寄せ植えなどを販売させていただきました。自家の牛をリードして参加する生徒もあり、大変有意義な勉強をさせていただきました。当日は、たくさんの町民の方がお見えになり、大変盛会でありました。今後もこうした地元のイベントに積極的に参加していきたいと思っております。



●【専攻科】「北海道農業特別専攻科学生研修会兼酪農技術現地研修会」を開催！

5月23日（火）～25日（木）にかけて、別海高校専攻科と富良野緑峰高校専攻科が参加する北海道農業特別専攻科学生研修会兼酪農技術現地研修会が開催されました。今回は北見から旭川、富良野の農場や牧場を視察し、富良野緑峰高校専攻科の学生達とスポーツ交流会や夕食交流会を行い、親睦を深めました。



富良野緑峰高校専攻科さんとの集合写真

今年は43回目の開催になり、両校専攻科学生19名が参加しました。

【1日目】北海道立北見農業試験場にて、アルファルファ、チモシー、ガレガの育種について学び、牧草の品種改良の過程を見学しました。ガレガという、珍しい牧草の育種についても学ぶ事ができ有意義な勉強をさせていただきました。

【2日目】山間放牧で有名な斉藤牧場を、見学させて頂きました。配合飼料を与えず、繁殖も雄牛を放牧し自然交配で行うなど、自然に逆らわずに行う酪農を研修させて頂き、有意義な勉強をさせていただきました。午後からは、富良野緑峰高校専攻科の皆さんとスポーツ交歓会や、夕食交流会を行い親睦を深めました。



斉藤牧場での見学の様子

【3日目】うすだFARMSにて富良野の現在の農業事情や畑作について学びました。タマネギの品種改良や方向性も学び、酪農においても経営面で共通しているなど、有意義な勉強をさせていただきました。次に、JAふらの本所にてフラノマルシェの直売所の来場者数、売り上げ、今後の課題など経営についての有意義な勉強をさせていただき、実際に、フラノマルシェの直売所も見学させていただきました。

研修会を終え、学生からは「富良野緑峰高校専攻科の学生と多くの情報交換ができ、またお会いしたい」、「また、様々な現地を見て勉強したい」という感想を多く聞きました。この研修会に補助をいただいた専攻科後援会の皆様、ご多用中にもかかわらず親身に対応してくださった各視察先の皆様へ、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

2018年度
学生募集

根釧酪農郷からの出発

北海道別海高等学校農業特別専攻科

専攻科説明会を実施します

日 時：平成29年8月4日（金）10:30~14:30 内 容：概要説明・体験授業

入試日程等（1次）募集人員20名 修業年限2年間

- 願書受付
平成30年1月10日（水）から
平成30年1月23日（火）正午まで
- 検査日
平成30年2月6日（火）
- 合格発表
平成30年2月14日（水）
- 検査内容 作文および面接
- 願書配布
平成29年11月30日（木）

農業特別専攻科の特色

- 18歳以上の酪農を目指す方が、自家や実習先、勤務先で就労・実習を行いながら学校で酪農の理論を学ぶ2年制の課程です。
- 牧草の収穫時期には、農場【自宅・実習先】で実践を、春・秋・冬には学校に通学して理論を学びます。

実習先農家条件（例）

- 3食あり、家賃なし、交通費なし、実習代（7~8万程度）支給。
- 親方家族と生活をシェアするか、実習生用の間借りなど、ご相談に応じます。
- 正規従業員として法人や農場で働きながら通学可能。

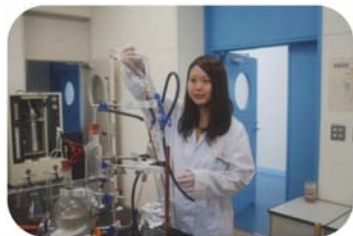
年度始め納入費

- 入学金や授業料など
45,550円
- 後援会・学友会費など
32,450円
- 合計78,000円
- ※平成29年度入学生初年度



H28年度卒 浜中町
後継者 下元 翔太さん

- 昨年まで、車で片道40分ほどかけて通学し、専攻科で学びました。学んだスキルを生かし、将来の酪農経営の夢に向かって日々頑張っています。



- 海外研修（ニュージーランド）が履修出来ます（2年次希望者）。
- 農業次世代人材投資資金（旧・青年就農給付金）（準備型）制度対象校です（要審査）。

説明会参加
資料請求等
お問い合わせ

別海高校農業特別専攻科まで

〒086-0214

北海道野付郡別海町別海緑町70-1

Tel.0153-75-2053 FAX. 0153-75-2263

URL. <http://bekkai.hokkaido-c.ed.jp>

Email. bekkai-z0@hokkaido-c.ed.jp



JAバンク北海道
http://www.jabank-hokkaido.or.jp



会いたい人、
行きたい場所、
まだまだ、
やりたいことが
沢山ある。



年金お受取り・ご紹介キャンペーン

お受取り
手続きのご相談は
お気軽に!

2017 7.3月 ▶ 12.29金

全国
95,000カ所のATMなど、
便利!

JAでお受取りされる方へ

- ① 年金のお受取り口座をJAにご指定・開設
- ② すでにお受取りの年金をJA口座にご変更
- ③ 将来の年金のお受取り口座をJAにご予約

期間中、以上のいずれかをお申込みの方に

今治「しまな美織」タオルセットを
プレゼント!



JAにご紹介いただいた方へ

期間中、年金のお受取り口座をJAにご指
定・ご変更・ご予約(年金受取口座の新規開
設を含む)される



お客さまをご紹介いただいた方に

今治フェイスタオル「白銀」、「紋ごのみ」を
いずれかおひとつプレゼント!

※キャンペーンの詳細はJAによって異なりますので、お近くのJAにご確認ください。なお、プレゼント品は数に限りがございます。柄の指定はお受けかねますので、ご了承ください。

て参ります。の取組み等を交えながら紹介し

員化の必要性やメリット、課題解決に向けた当JAや道内JA

次号以降では、女性の正組合

「理事の年齢及び性別に著しい



みんなで考えよう！
JAの女性参画



道内JAの現状
男女共同参画社会
基本法に基づく、
「第4次男女共同参
画基本計画」では、
平成32年度までに女
性役員が登用されて
いないJA数を0とし、
役員に占める女性の
割合を早期に10%、
平成32年度までに15%
とする、という数値目
標が設定され、平成28
年4月施行の改正農協法
では、「理事の年齢及び
性別に著しい偏りが生
じないように配慮しな
ければならない」と規
定された。

第3回理事会報告 平成29年5月29日開催

議案第1号	北海道常例検査結果指摘事項に対する改善状況等の報告について	報告事項2	地区懇談会の意見集約について
議案第2号	規程類の一部改正について	報告事項3	貸借対照表及び損益計算書（4月末）について
議案第3号	平成28年度行政庁業務報告書の提出について	報告事項4	組合員の動向（4月末）について
議案第4号	不良債権の処理方針について	報告事項5	定款第57条第6項に基づく貸出金に係る理事会承認案件の処理状況について
議案第5号	一般組合員に対する農業経営基盤強化資金の借入と貸付について	報告事項6	融資審査会の結果について
議案第6号	特定組合員に対する農業経営基盤強化資金の借入と貸付について	報告事項7	総合的なリスク管理について
議案第7号	国営環境保全型かんがい排水事業肥培施設の設計について	報告事項8	平成28年度末基準JA財務モニタリングについて
議案第8号	国営環境保全型かんがい排水事業肥培施設の実施について	報告事項9	平成28年度末基準体制モニタリングについて
議案第9号	新哺育・育成預託センター建設に伴う別海町との施設用地借用契約の締結について	報告事項10	特定組合員実績（4月末）について
議案第10号	新哺育・育成預託センター工事施工計画に関する方針について	報告事項11	平成29年度新規就農激励状贈呈事業対象者について
議案第11号	平成29年度酪農経営体生産性向上緊急対策事業の実施について	報告事項12	別海支所「2017JAふれあいまつり」の開催について
協議事項1	持続可能な北海道農業の確立に向けた組織討議について	報告事項13	地区酪対役員会の結果について
報告事項1	平成28年度監事監査の取りまとめについて	報告事項14	販売事業実績（4月末）について
		報告事項15	平成29年度北海道酪農体質強化対策事業について
		報告事項16	購買事業実績（4月末）について
		報告事項17	行事予定について
		報告事項18	道東あさひ畜産クラスター協議会臨時総会の結果について
		報告事項19	担い手確保対策会議（就農希望者面接）の結果について

第4回理事会報告 平成29年6月6日開催

議案第1号	平成29年度理事の役員報酬額の決定について	報告事項1	第2次地域農業振興計画平成28年度取組み結果について
議案第2号	株式会社ASAHIサポートセンターの株式取得について		

第5回理事会報告 平成29年6月17日開催

議案第1号	特別当座貸越の貸付について	協議事項1	組織機構の変更について
議案第2号	一般組合員に対する農業経営基盤強化資金の借入と貸付について	報告事項1	第1四半期末監事監査の実施について
議案第3号	特定組合員に対する農業経営基盤強化資金の借入と貸付について	報告事項2	内部統制構築に向けた取組みスケジュールについて
議案第4号	特定組合員に対するJA農業経営ステップアップローンの貸付について	報告事項3	平成28年度末財務動向（経営分析比率）について
議案第5号	特定組合員の第3四半期クミカン供給限度額の設定について	報告事項4	貸借対照表及び損益計算書（5月末）について
議案第6号	平成29年度乳用後継牛緊急確保事業管理利用規程の制定について	報告事項5	組合員の動向（5月末）について
議案第7号	鳥獣被害防止総合対策事業に係る管理・貸付規程の一部改正について	報告事項6	定款第57条第6項に基づく貸出金に係る理事会承認案件の処理状況について
議案第8号	平成29年度鳥獣被害防止総合対策事業に係る入札の実施について	報告事項7	融資審査会の結果について
議案第9号	平成29年度鳥獣被害防止総合対策事業に係る入札予定価格範囲の設定について	報告事項8	特定組合員実績（5月末）について
議案第10号	平成29年度酪農経営支援総合対策事業（乳用牛能力向上事業優良乳用牛導入支援対策）の実施計画について	報告事項9	平成29年度新規畜産振興事業「日本版GAP普及推進に関する実証事業」に係る入札結果について
議案第11号	平成29年度畜産・酪農生産力強化対策事業（繁殖性等向上対策のうち肉用牛の繁殖性システム構築）の参加取進めと対象機械の貸付について	報告事項10	平成28年度補正畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業に係る入札結果について
議案第12号	一般組合員に対する農業経営基盤強化資金（H方式）の事務取扱額の変更について	報告事項11	平成29年度JA道東あさひ経営安定・生乳増産対策（助成事業）の取りまとめ結果について
		報告事項12	大型経営育成対策会議結果報告について
		報告事項13	JA道東あさひ経営・生乳増産PJ【平成29年度遂行計画】について
		報告事項14	販売事業実績（5月末）について
		報告事項15	購買事業実績（5月末）について
		報告事項16	行事予定について
		報告事項17	平成29年度酪農経営体生産性向上緊急対策事業の参加希望者の報告について

5月 生乳生産・乳代単価情報

区分	5月	累計	脂肪率	無脂固形分率	補給金単価	FAT単価	SNF単価	乳質単価	乳代合計
全道	329,933t	642,626t	3.91%	8.75%	8.31円	35.84円	50.72円	3.72円	98.57円
前年(比)	98.1%	98.0%	3.90%	8.74%	6.60円	35.28円	49.93円	3.72円	95.53円
根室管内	68,551t	133,159t	3.96%	8.69%	8.31円	36.30円	50.40円	3.76円	98.74円
前年(比)	99.7%	99.3%	3.97%	8.68%	6.60円	35.93円	49.62円	3.78円	95.93円
JA道東あさひ	30,258t	58,629t	3.97%	8.68%	8.31円	36.37円	50.32円	3.72円	98.69円
前年(比)	98.7%	98.1%	3.98%	8.67%	6.60円	36.00円	49.56円	3.77円	95.93円
西春別支所	7,786t	15,143t	3.91%	8.67%	8.31円	35.88円	50.25円	3.80円	98.21円
前年(比)	99.4%	99.7%	3.95%	8.67%	6.60円	35.74円	49.56円	3.77円	95.66円
上春別支所	5,246t	10,138t	3.93%	8.71%	8.31円	36.09円	50.48円	3.70円	98.56円
前年(比)	101.2%	98.2%	3.97%	8.70%	6.60円	35.90円	49.72円	3.82円	96.03円
別海支所	13,151t	25,449t	3.99%	8.68%	8.31円	36.61円	50.30円	3.70円	98.89円
前年(比)	97.6%	97.3%	3.99%	8.66%	6.60円	36.09円	49.50円	3.76円	95.94円
根室支所	4,077t	7,900t	4.02%	8.68%	8.31円	36.88円	50.33円	3.64円	99.13円
前年(比)	97.7%	97.9%	4.01%	8.67%	6.60円	36.30円	49.56円	3.79円	96.24円

今月のあなたの運勢 7月 モナ・カサンドラ

♈ 牡羊座
3/21~4/19

【全体運】ささいなことでもイライラしやすいよう。一人の時間を大切にしながら気分のリフレッシュを。深呼吸も開運の鍵に
【健康運】ちょっとしたけがに注意。冷静な行動を
【幸運を呼ぶ食べ物】オクラ

♉ 牡牛座
4/20~5/20

【全体運】周囲のサポートに恵まれ、順調に過ごせそう。初対面の相手にも笑顔で話し掛けると良縁を引き寄せられるはず
【健康運】軽い運動がさらなる体調アップを招く時期
【幸運を呼ぶ食べ物】エダマメ

♊ 双子座
5/21~6/21

【全体運】強引に物事を進めず、じっくりと腰を据えて取り組むのに向く時期。リラクセスするには紅茶に凝ると効果あり
【健康運】暴飲暴食気味。食事内容の見直しが必要
【幸運を呼ぶ食べ物】ピーマン

♋ 蟹座
6/22~7/22

【全体運】新しいことをスタートさせるのに最適。意欲的にチャレンジしてみよう。過去に駄目だった挑戦にもリベンジ可能
【健康運】疲れを感じやすいかも。休養を忘れずに
【幸運を呼ぶ食べ物】トウガン

♌ 獅子座
7/23~8/22

【全体運】地道な作業に力を注げば少しずつ物事が動き出す予感。何事にもじっくり取り組んで。気分転換には音楽が吉
【健康運】不調を感じがち。生活のリズムを整えて
【幸運を呼ぶ食べ物】カンパチ

♍ 乙女座
8/23~9/22

【全体運】対人運良好。人と知り合える場所には積極的に足を運んで。趣味の集まりやオフ会に参加すると新鮮な出会いが
【健康運】順調。血行促進を図ると、さらに好転
【幸運を呼ぶ食べ物】アンス

♎ 天秤座
9/23~10/23

【全体運】思うようにならないことが多く、イライラが募りやすい時期。笑顔と謙虚さが開運の鍵に。盆栽の手入れもグッド
【健康運】気晴らしが大事。自然の中で過ごす
【幸運を呼ぶ食べ物】アジ

♏ 蠍座
10/24~11/22

【全体運】アクティブに動き回りそう。迷ったときは、とにかく動いてみるのがベスト。大胆な発想が運氣上昇の呼び水に
【健康運】高め安定。体力アップを図るチャンス
【幸運を呼ぶ食べ物】ナス

♐ 射手座
11/23~12/21

【全体運】暗い発想をしやすい暗示。意識的にプラス思考を。香り系ヒーリンググッズを試してみると効果を実感できます
【健康運】運動不足気味に。適度に体を動かして
【幸運を呼ぶ食べ物】アワビ

♑ 山羊座
12/22~1/19

【全体運】気分の浮き沈みが激しくなる期間。ココロ葛藤を委えて、周囲を困らせないよう、ご用心。開運には深呼吸を
【健康運】無理なダイエットはNG。ほどほどにツキ
【幸運を呼ぶ食べ物】カボチャ

♒ 水瓶座
1/20~2/18

【全体運】珍しく神経質になりがち。難しく考え過ぎず、気楽に構えて。気持ちを向上させるにはウオーキングが正解
【健康運】健康法に凝り過ぎるかも。自然が一番
【幸運を呼ぶ食べ物】桃

♓ 魚座
2/19~3/20

【全体運】楽しいことに縁がある月。友人たちとレジャーに出掛けば、にぎやかに発見の多いひとときに。観劇もお勧め
【健康運】行動力アップ。スポーツの上達が早そう
【幸運を呼ぶ食べ物】シソ

ホクレン市場カレンダー

月	日	種類	西春別	上春別	別海	根室
7月	12日		7番	8番	9番	1番
	13日	乳牛	9番	1番	3番	2番
	19日		8番	9番	1番	2番
	26日		9番	1番	2番	3番
8月	2日		1番	2番	4番	5番
	9日		3番	4番	5番	6番
	16日		4番	5番	6番	7番
	23日		4番	5番	6番	7番
	24日	乳牛	1番	2番	4番	3番
	30日		5番	6番	7番	9番

編集局から

及川組合員の取材では、酪農の魅力等貴重なお話を伺うことができました。その中でも「組合員と共に農協も一緒になってやっていくことが力になる」という言葉が非常に響きました。その言葉を胸に組合員のためのJA職員になれるよう、これからも頑張りたいと思います。

西春別支所では8月5日(土)にAコープ西春別店前特設会場にて「第18回酪農祭」を開催致します。各種イベントや焼肉交流試食会等ございますので、多くの方の来場をお待ちしております。

西春別支所 営農課 桐島裕人

JA道東あさひ

平成29年7月10日発行
発行/JA道東あさひ
編集/営農部 営農振興課
住所/北海道野付郡別海町
別海緑町116番地9
電話/ (0153) 75-2201 (代表)